立　命　館
# 言 語 文 化 研 究

27巻2・3合併号

## 目　　次

**児玉徳美先生追悼特集「ことばの日常と非日常」**

序にかえて：児玉徳美先生とヴァナキュラー文化研究会…… 海寶康臣（ 3 ）

談話の冒頭部分における新情報の出現について…… 伊藤　晃（ 5 ）

書き言葉における文頭の And …… 海寶康臣（17）

構文交替と項の変換…… 工藤和也（27）

なぜ太陽はあるのにお日さまはいるのか…… 佐野まさき（43）

結果構文の翻訳から分かること
　― push the door open を題材に―…… 出水孝典（59）

日本語の裸の後置詞に関する覚書…… 吉田幸治（69）

**国際言語文化研究所プロジェクト A2 研究所重点研究プログラム**
**「バイリンガルの言語脳イメージング研究」特集**　　田浦秀幸

「バイリンガルの言語脳イメージング研究」特集の概要…… （77）

バイリンガル脳イメージング研究：これまでの研究成果…… （81）

第二言語ナラティブ時の脳賦活データによる言語臨界期説検証研究…… （117）

バイリンガル・コードスイッチ脳賦活データによる臨界期仮説検証研究…… （127）

大型 fNIRS 機（OMM-3000）と携帯型 fNIRS 機（LIGHTNIRS）の相関性研究…… （133）

大型 fNIRS 機（OMM-3000）と簡易 fNIRS 機（PocketNIRS）との相関性研究…… （145）

大型 fNIRS 機（OMM-3000）と簡易携帯型脳波計（IBVA）の相関性研究…… （149）

**国際言語文化研究所 プロジェクト A1 研究所重点研究プログラム**
**「環カリブ地域における言語横断的な文化 / 文学の研究」研究報告**

まえがき…… 西　成彦（175）

プエルト・リコ，問い直される「正史」
　―ロサリオ・フェレとマヌエル・ラモス・オテロの作品から―…… 久野量一（177）

エドゥアール・グリッサンと『アコマ』(1)…… 中村隆之（189）

カリブ文学試論―パピアメント語小説の位置…… 西　成彦（207）

サン・トメ島―ポリフォニック・クレオールの輪郭…… 寺尾智史（217）

セゼールとモース―脱植民地期の黒人知識人と人類学の対話…… 佐久間寛（233）

## 2014 年度「日本人の国際移動研究会」の活動報告

2014 年度「日本人の国際移動研究会」の活動報告
—ミニ・シンポジウムの開催にあたって— …… 河原典史（247）

「ひと」の地理的拡散をいかに有機的に捉えるか
—近現代華僑の歴史実証研究より— …… 園田節子（249）

戦後朝鮮における華僑政策と朝鮮華僑の生業 …… 宋　伍強（251）

近代広東系華僑のグローバル化：ビジネス・慈善・医療 …… 帆刈浩之（253）

カナダ史における移民動態の変遷と多文化主義の成立 …… 津田博司（257）

『南の虹のルーシー』から移民博物館へ
— 2 世紀にわたるオーストラリアへの移民の構造と変遷— …… 藤川隆男（259）

国家と漁船
— 1930 年代～ 40 年代のハワイ並びにアメリカ西海岸における
アメリカ合衆国の漁業政策について— …… 小川真和子（261）

南洋漁場開拓者原耕の業績とその影響 …… 福田忠弘（263）

## 個別論文

Presse et nucléaire au Japon
—De Hiroshima à Tôkaimura（1945-1957）— …… Tino BRUNO（265）

Regionale Varietäten im Deutschunterricht — Fluch oder Segen? …… Thomas HINSKEN（283）

Étude comparative des pauses silencieuses en français lu par des natifs et par des apprenants
japonais …… Bertrand SAUZEDDE（295）

L'Imaginaire de l'infiniment petit
Etude comparée du motif de l'emboîtement nanoscopique dans la science-fiction japonaise
et anglo-saxonne …… Denis TAILLANDIER（309）

“A ＋多＋了” 与 “A ＋得＋多” …… 謝　平（349）